

令和4年1月13日

保護者の皆様

岡山県立岡山朝日高等学校
校長 竹田 義 宣

1月14日以降の教育活動について

平素より本校教育活動にご理解・ご協力を賜りお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきまして、県立学校の行動基準が、10月29日以降「レベル1」となっていましたが、感染力が強いとされるオミクロン株の流行状況などにより1月14日以降は「レベル2」に引き上げられます。1月14日以降は次のような対策の下で教育活動を行いますので、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、今後の状況の変化に応じて、対応等を見直す場合があります。保護者向けメール配信サービスや本校の公式ホームページに最新情報を随時掲載いたしますので、ご確認をお願いいたします。

1 今回の主な変更点

- ・生徒本人に加えて、同居の家族に風邪症状（倦怠感、咽頭痛等）がみられる場合は発熱等がなくても、通学、外出を止める。
- ・合宿や県外との交流（練習試合等で県外からの招聘も含む）については、自粛する。

2 日常的な生活について

(1)毎朝の健康観察の実施

- ・毎朝、自宅で検温・健康状態の確認を行い、健康観察記録表（各月に1枚）に記録する。
- ・上記記録表に基づき、自らの健康状態に留意し、風邪症状（倦怠感、咽頭痛等）がある場合は、発熱等がなくても通学、外出を止める。また、同居の家族に風邪症状（倦怠感、咽頭痛等）がみられる場合も同様とする。このため、家族に症状がある場合は、上記記録表の備考欄に記入する。これらの欠席については、保護者からの届出（手続きは本校ホームページに掲載）により欠席扱いとならない。
- ・遅刻・欠席や上記の連絡については、これまでどおり保護者から生徒の登校前に連絡していただく。

(2)マスクの着用

- ・学校では通常マスクを着用する。
- ・学校教育活動においては、身体的距離が確保できない場合、向かい合って活動する場合等は、必ずマスクを着用する。活動中にマスクを外す際には、身体的距離を必ず確保する。
- ・暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応する。
- ・正しいマスクの着用と、咳エチケットを守る（食事前後の歓談時、更衣室でもマスクを着用する）。

(3)教室の換気

- ・気候上可能な限り常時、授業中もエアコンの使用時も含めて、2方向の窓を同時に開けて換気を行う。
- ・休憩時間等は、エアコンの使用時を含めて、その都度窓を大きく開けて教室全体の換気を行う。

(4)手洗い、手指の消毒の実施

- ・外から教室等に入る時やトイレの後、食事の前後等に流水と石けんで丁寧に手洗いしたり、手指の消毒をしたりする。

(5)消毒の実施

- ・多くの生徒が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ等）は、1日1回以上消毒液を使用して消毒を行い、記録表に記入する。

(6)昼食時

- ・弁当等の飲食をする際には、向かい合わず個々に飲食し、身体的距離をできるだけ確保する。食事時の会話はせず、食事後に必ずマスクを着用してから会話をする。

(7)授業中の防寒対策について

- ・教室の換気が必要になるため、授業中も防寒着の着用・膝掛けの使用を認めるので、自身の体調等に応じて防寒対策を行う。

3 授業について

- ・生徒の「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」について、可能なものは避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また回数や時間を絞るなどして慎重に検討して実施する。

4 部活動について

(1)通常の活動

- ・可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動へ切り替え、密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動については、自粛も含め慎重に検討する。練習開始時の集団走でのかけ声など、近距離でのかけ声や向かい合っでの発声したりする活動の実施は避ける。
- ・屋内での活動の場合は、冬季であることを踏まえ、換気を徹底する。

(2)対外試合・合宿等

- ・県内の対外試合（練習試合等）の実施については慎重に検討し、可能なものは実施する。
- ・県内の公式の大会や演奏会等への参加は感染症対策を万全にする。
- ・県外の大会や演奏会等への参加については、十分な感染症対策が講じられている公式戦等（全国・中国大会等）への参加を除き、自粛する。
- ・合宿や県外との交流（練習試合等で県外からの招聘も含む）については、自粛する。
- ・大会等については、参加を強制せず生徒本人と保護者の意向を尊重するとともに、参加の可否も含め、主催者が策定したガイドラインや中央競技団体等が示すガイドラインなどを遵守する。

(3)飲食の場面

- ・飲食の場面を作らないことが望ましいが、やむを得ず飲食の場面ができる場合は、飛沫を飛ばさないような席の配置や、会話を控えるなどの工夫をし、飲食の前後に会話する場合は、必ずマスクを着用する。

(4)更衣の場面

- ・部室での会話（密閉空間における近距離での会話）により、濃厚接触者に特定された事例もあることから、部室や更衣室等を利用する際にも必ずマスクを着用し、外す場合は会話をしない。また、短時間の利用とし、一斉に利用することを避ける。

(5)マスクの着用

- ・マスクの着用については、感染症対策に万全を期す。運動時は、身体へのリスクを考慮し、マスクの着用は必要ない。特に、呼気が激しくなる運動を行う際には、十分な呼吸ができなくなるリスクなどの健康被害が発生するリスクがあるため、十分な感染対策を講じた上で、マスクを外す。
- ・用具の準備や片付けなど運動を行っていない際は、感染症対策として可能な限りマスクを着用する。

5 2～4の対策について、生徒は家庭でも地域でも必要な行動をする。

- ・帰宅途中にコンビニエンスストア等に立ち寄り、集団で飲食することや、放課後や休日に友人宅や店舗等で、長時間、大人数で飲食を行わない等。

6 PCR検査を受ける場合について

- ・医療機関受診によりPCR検査を受ける場合とその結果について、保護者から速やかに学校に連絡していただく。学校に連絡がつかない場合は、学校の緊急携帯番号に連絡していただく。

7 再度の臨時休業等の緊急事態発生時について

- ・速やかに保護者向けメール配信サービス等を活用して連絡する。
- ・休業中の対策についてはG Workspaceの各クラスのClassroomやホームページ等を通じて連絡する。臨時休業等の場合は、オンライン授業（同時双方向、オンデマンド、課題提示・解説等の組合せ）に切り替える。

8 その他

- ・新型コロナウイルス感染症には、誰でもかかる可能性があります。感染した本人を責めることはできません。偏見や差別につながる行為は断じて許されないものであるだけでなく、感染症拡大にもつながってしまいます。
- ・生徒は、長期化する新型コロナウイルス感染症への不安に加え、学習活動や部活動・学校行事、日常生活での制限等により、想像以上に不安や悩みを抱えたり、心が不安定になったりしていることが考えられます。学校でも十分注意しますが、ご家庭でもお子様の様子にご注意いただき、少しでも気になる点がございましたら、学校へのご連絡をお願いいたします。
- ・ご不明な点や心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。
学校（086-272-1271）
夜間・休日等学校の電話が留守番電話の時、特に緊急を要する場合の連絡先
[学校の緊急携帯番号]（これまでに連絡した電話番号）
- ・「24時間子供 SOSダイヤル」0120-0-78310

県民の皆様へ

- ・岡山県から県民の皆様へのメッセージです（令和4年1月13日～1月31日）。

● 県民の皆様へ

- 少しでも症状がある場合、発熱がなくとも、かかりつけ医等を受診し、通勤、通学、外出等を止めること
- 4つの「岡山ルール」及び「マスクコード」の遵守
- 「新しい生活様式」の実践の徹底
- 外出する場合は、混雑している場所や時間を避けて行動すること
- 岡山県飲食店感染防止第三者認証事業（P.3※参照）の認証店など、感染対策が徹底されている飲食店等を利用すること
- 路上、公園等における集団での飲酒、地域で集まって行う会食やカラオケなど、感染リスクが高い行動は行わないこと
- ワクチンには感染症の発症や重症化を防ぐ高い有効性が認められているため、ぜひワクチンの接種を受けること
- 発熱等の症状がなく、感染リスクが高い環境にある等のため感染不安を感じる県内在住者は、無料検査（PCR検査、抗原定性検査）を受検すること【**特措法第24条第9項に基づく要請**】



© 岡山県「ももっち」

岡山県 オミクロン株特別警戒期間 4つの「岡山ルール」



© 岡山県「うらっち」

★会食は **4** 人以下2時間以内で、家族や毎日顔を合わせている人たちと

★ **3** 密は一つの密でも避けて、手洗い、換気を徹底

★感染拡大地域との不要不急の往来は控え、

やむを得ず往来する場合、前後 **2** 週間は体調管理に気を付けて

★ワクチン接種後も **1** 枚のマスクがあなたとあなたの大切な人を守る

みんなで守って感染リスクを **0** に近づけよう！

※感染拡大地域：緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域

思いやりのルール「マスクコード」

～みんなで守って、大切な家族、従業員の皆さん、
医療関係者の皆さんに広げよう優しさの輪～



○話すときは「マスク会話」

休憩時間などは、つい気が緩みがちなので特に注意を

ケース① マスクを外して更衣室や喫煙室で談笑して感染拡大

○食事のときも話をするなら必ずマスク

会話するときは必ずマスク着用を

飲食するときは黙食の徹底を

ケース② 子どもが県外から帰省し、親族で集まり会食をして全員感染

○マスクは正しく着用

マスクを顔にすき間なくフィットさせ、しっかり着用を

布やウレタンより不織布の方が感染予防効果等が高いことが示されています